

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 社会（地歴） 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（3・8組：宮島）（1・2・4組：内田）（5組：宮本）（6・7組：渡邊）

使用教科書：（詳述歴史総合（実教出版））

教科 社会（地歴）の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 歴史総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p>	<p>・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p>	<p>・中学校社会科における学習の成果を生かし、必修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 第1章 近代化への胎動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> <p>・中国を中心とする冊封体制について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p> <p>・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。</p>	<p>・指導事項 A歴史の扉 17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 B大衆化 1. ヨーロッパの海外進出と市民社会 2. 清の繁栄 3. 東アジア諸国間の貿易 琉球と蝦夷地 4. 江戸時代の日本の対外政策 5. 江戸時代の社会と生活</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。</p> <p>・17世紀以降のヨーロッパの交易活動の展開と、それがヨーロッパの社会や人々の生活に与えた影響について理解している。</p> <p>・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・中学校社会科における学習の成果を生かし、必修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p> <p>・近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	4

<p>B 単元 第2章 欧米の市民革命と 国民国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>6. イギリス産業革命 7. アメリカ独立革命 8. フランス革命とナポレオンラテンアメリカの独立 9. ウィーン体制 10. 19世紀のイギリスとフランス ・イギリスやフランスではすでに国家としてまとまっていたため、さまざまな近代化の改革がすすんだことに着目させる。 11. イタリア・ドイツの統一 12. 東方問題と19世紀のロシア 13. アメリカの発展と分裂 14. 世界市場の形成</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

<p>C 単元 第3章 アジアの変容と日本の近代化</p> <p>【知識及び技能】 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>・指導事項 15. イスラーム世界の改革と再編 16. 南アジア・東南アジアの改革と再編 17. アヘン戦争の衝撃 18. ゆらぐ幕藩体制 19. 開国 20. 幕末政局と社会変動 21. 新政府の成立と諸改革 22. 富国強兵と文明開化 23. 近代的な国際関係と国境・領土の画定 24. 自由民権運動の高まり 25. 立憲国家の成立</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・アメリカの領土拡大の過程とその影響を考える。 ・奴隷制の廃止の過程とその影響を考える。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、南北戦争と奴隷制の廃止について学習したことを現在の人種差別問題の解決に生かそうとしている。 ・19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>	<p>・指導事項 第4章 帝国主義の時代 26. 帝国主義と世界分割 27. 帝国主義期の欧米諸国 28. 条約改正 29. 日清戦争 30. 日露戦争から韓国併合へ 31. 日本の産業革命と社会問題 32. アジア諸民族の独立運動・立憲運動</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 大政奉還、王政復古までの政局と社会の動きについてまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の近代化と諸外国の近代化の共通点と相違点について、p.79のCheckを活用しながら協働的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 幕末の脱藩士や草莽の志士の活動と、明治以降の制度改革とのつながりについて主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>E 単元 第5章 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識及び技能】 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナ</p>	<p>・指導事項 C大衆化 33. 緊迫する国際関係 34. 第一次世界大戦 35. ロシア革命とシベリア出兵 36. 大戦景気と米騒動 37. ヴェルサイユ体制とワシントン</p>	<p>【知識・技能】 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など</p>				

2 学 期	<p>シヨナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	<p>ン体制 STEP UP 植民地 38. 西アジア・南アジアの民族運動 39. 東アジア・東南アジアの民族運動 40. 戦間期の欧米 41. ひろがる社会運動と普通選挙の実現 42. 政党内閣の時代</p> <p>・教材 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>を基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>G 単元 第6章 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>43. 世界恐慌 44. ファシズムの時代 45. 満洲事変と軍部の台頭 46. 日中戦争 47. 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 48. 戦争と民衆 49. 敗戦 50. 国際連合と戦後世界 51. 戦後と占領の始まり 52. 民主化と日本国憲法 53. 冷戦の開始 54. 朝鮮戦争と日本国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表を活用して、連合国による日本の占領初期の改革について、まとめることができる。 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	○	○	○	14

	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	H 単元 第7章 冷戦と脱植民地化 【知識及び技能】 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	Dグローバル化 55. 冷戦対立の推移 56. 植民地の独立と第三世界の出現 57. 米ソ両陣営の動揺 58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長	【知識・技能】 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				○	○	○	
	H 単元 第8章 多極化する世界 【知識及び技能】 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	59. 石油危機と世界経済 60. 緊張緩和から冷戦の終結へ 61. 地域協力の進展 62. 日本の経済大国化	【知識・技能】 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		s			○	○	○
3 学 期	定期考査						○	○	○	1
	I 単元 第9章 グローバル化と現代世界	63. 冷戦体制の終結 64. 地域紛争と世界経済 65. グローバルな認識へ	【知識・技能】 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題							

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 <p>【思考力，判断力，表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現させる。 <p>【学びに向かう力，人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 	○	○	○	4
合計						
70						